

シーズン移行に関する意見等

Jリーグは「Jリーグの理念」を具体的に分かりやすく伝えるために、1996年「Jリーグ百年構想」を発表し、以来各クラブとそれを支援する人々は、理念と百年構想の実現に向けて活動を続けてきています。

シーズン移行について、リーグが公表している検討資料「1.『Jリーグ・日本サッカーが目指すもの』」においても、「Jリーグの理念や100年構想は変わらず」（2023.8.2 樋口フットボール本部長）と説明しています。

百年構想の中では、“「観る」「する」「参加する」。スポーツを通して世代を超えた触れ合いの場を広げること。”を実現していくことが宣言されています。

このスポーツとの多様な関わり方を表す表現は、2010年に策定されたスポーツ立国戦略でも使われるようになり、後のスポーツ基本法やスポーツ基本計画にも引き継がれています。

多様な関わりがあることは、シーズン移行が、クラブだけでなく、多様なステークホルダーに影響を与えるものであることを示しています。

検討に当たっては、「する」「見る」「支える」、そして地域との交流「交わる」ことに関わる人々のために本当に必要なことか、最適なことなのかを考えていく必要があることを基本にすべきと考えます。

しかしながら、シーズン移行に関する検討は、これまで公表されてきたニュースを見る限り、「世界と戦うフットボール」（「する」と、そこから派生する「収益獲得」に軸足を置いた検討が主となっているように思えます。

Jリーグの試合を「観る」サポーターや、試合運営を「支える」ボランティアや後援会、スポンサー、そしてクラブと「交わる」地域に与える影響は二の次になっているように思えます。このことにより、関係する様々な人から反対意見が出てきたものと考えます。

市民後援会としては、「観る」「支える」を本分として活動してきた立場から、Jリーグの「世界と戦うフットボール」のためには、「する」側以外のステークホルダーの多少の犠牲は仕方ない、とも言わんばかりの検討経緯には正直なところ違和感を覚えます。

もっと時間を使い「する」以外の関係者の声を聞くことを切望するところです。

しかしながら、マスコミ報道のとおり、Jリーグの経営戦略として、敢えてシーズン移行の早期決定を選択するのであれば、そこから派生する問題点を概ね解決することをめざし取り組んでいただきたい。それができないのであれば、シーズン移行には反対せざるを得ません。

以下、シーズン移行を選択するのであれば、ぜひ検討し解決していただきたいことを列挙します。

以下の「意見・質問等」は、市民後援会スタッフから募った意見等を列記したものです。

カテゴリ分けをしていますが、●印はJリーグの説明資料のカテゴリを引用しています。それぞれについて、リーグ本部及び各クラブ間でどのような議論が行われ、どのような解決策が提示されているのか（実現可能性は別として）回答をいただきたいと思ひます。

カテゴリー	区別	意見・質問等
<p>○包括的意見</p> <ol style="list-style-type: none"> 1 海外の各リーグとJリーグは、同じサッカーを行っているといっても、その自然環境やリーグとしてめざすことにしたものは完全一致ではない。 四季があり、夏と冬の気候に大きな差があること、「地域密着」を掲げて自治体の支援を条件にリーグを構成してきたこと等を考えれば、シーズン移行により失うものも多いと思う。現行のシーズンカレンダーを軸にして、課題を解決することの方が全体最適なのではないか。 それでもシーズン移行をする場合は、移行のメリットを語る前に、現行のシーズンカレンダーで絶対に無理だというのが何なのか、私たちが理解・納得できるように説明した上で検討を行っていただきたい。 2 これまで実行委員会の場でどんな議論がなされ、各クラブからどんな意見や懸念事項が示されたのか、そして、リーグとしての解決案はどのようなものが提示されたのか説明していただきたい。 3 4つの分科会で、それぞれのカテゴリに関する議論を深めたとのことだが、特にサポーターやボタニティア、後援会に関係する事項としてはどんな意見や懸念事項が示されたのか、リーグとしての解決策はどのようなものが提示されたのか説明していただきたい。 4 Jリーグクラブ及びその関係者は、すべての人が日本代表の強化を主目的に活動している訳ではない。選手出身のチェアマンがアスリートファースト、日本代表ファーストな考えで、強引にシーズン移行をしようとしている姿勢に不安を覚える。 5 シーズン移行は、全クラブに影響するものであるが、降雪地帯や北国のクラブにとつての負担が大きくなることは明白である。したがって、移行の決議方法については、理事会という限られた者での決議ではなく、実行委員会で決議をしていただきたい。なおかつ、多数決によらず、全会一致を原則として欲しい。 6 10月28日、意見交換会の結果、どのような意見が出たのか、その結果、クラブとしてどのような内容を実行委員会で表明することにするのか、次回実行委員会開催前にクラブ公式HPで公開して欲しい。 		
○リーグ戦開始・終了時期	<p>する 観る 支える</p>	<p>シーズン開始予定の8月は、例年猛暑が続くような気候変動がみられており、移行するのであれば選手にとつてもスタッフ・観客にとつても9月開始が妥当と思う。</p>
	<p>する 観る 支える</p>	<p>そもそもACLのシーズン変更があったからといって、日本という四季のある風土で生きているJリーグがカレンダーを変更する必要があるのか疑問である。変更しないことの方が全体最適なのではないか。</p>
○シーズン移行全般		<p>Jリーグ及び関係者は、すべての人が日本代表の強化を主目的に活動している訳ではない。選手出身のチェアマンがアスリートファースト、代表ファーストな考えで、強引にシーズン移行をしようとしてい</p>

		る姿勢に不安を覚える。
		経営に与える経済的な影響度を教えて欲しい。 その際、サポーターやボランティア、後援会に与える影響についても試算して教えて欲しい。
	する	ウインターブレイク期間中に第2キャンプをしなければならないチームと地元で活動できるチームの公平性についてどう担保するのか教えて欲しい。
	する	ウインターブレイク期間中に、地元で練習環境を確保できるように、全天候型の天然芝練習場をリーグの責任で確保してもらいたい。
	する	現行の試合期間より冬季の試合期間が多くなる場合は、スタジアムの降雪対策として、ピッチの融雪装置等をリーグの責任で導入して欲しい。
	する 観る 支える 交わる	先行して秋春制を実施しているWEリーグの現状をどう評価しているのか？ ウインターブレイクにより、リーグ戦への熱気が冷めてしまっている状態を、単にWEリーグの努力不足と片付けるのか。
	する 観る 支える	気候変動は人間の予測を超えたスピードで進んでおり、夏季の猛暑は選手も見る側も耐え難くなってきている。 少なくとも7月～8月は試合を実施すべきではない。 そう考えると、現行のカレンダーで、サマーブレイクを取る方が日本のリーグとしては自然なのではないか。
●ステータホルダーとの年度の異なり	する	日本社会及び教育組織の事業年度や会計年度と、移行後のシーズン期間が異なる(4月開始と8月開始)ことから生ずる諸問題の解決方法を示すこと。 (例) ・スポンサーの会計年度とのズレによりスポンサー営業が複雑化する。スポンサー自身の費用計上も2か年にまたがる。 ・教育機関とのズレにより、選手獲得までに半年間のズレが生じる ・アカデミーのリーグ戦実施時期の違いより、ユースチーム等は年度の前後半で選手の構成が変わる。 ・自治体の会計年度のズレにより、スタジアム等の確保が難しくなる。
●降雪への対応地域への対応	観る	降雪時の観戦には、移動手段の確保、移

		<p>動手段の安全性等で相当のリスクをはらんでいる。こうしたリスクをリーグとしてテイクするのであれば、「観戦者保険」のような保険をチケット料金に含み、補償の対象とすべきである。</p>
	<p>する 支える</p>	<p>12月～2月は積雪のリスクが高いため、この間の試合会場や練習グラウンドの「雪かき」が発生する。</p> <p>シーズン移行により増加する「雪かき」の負担について、「お金の問題でしょ」という考えだけでなく、作業をするクラブスタッフや支援者の心の負担にも配慮して、リーグの全責任で補償して欲しい。</p>
●移行期の対応	<p>する</p>	<p>12月～1月にウィンターブ레이크を入れるとして、「インターバルキャンプ」を実施することになる。練習環境の維持とそれに要する費用の補填をすること。</p>
	<p>観る 支える</p>	<p>2026年8月から新カレンダーとしてシーズンを開始するのであれば、2025年末～2026年6月頃までの期間をどう使うのか明確にして欲しい。</p>
●試合開催できる期間が短縮	<p>支える</p>	<p>平日開催が多くなることにより、集客面でのダメージが多くなるが、同時に、試合運営をサポートしている運営ボランティアや市民後援会の活動にもマンパワーの確保等で支障が発生する。</p>
	<p>みる</p>	<p>平日開催が多くなることにより、年間チケットを購入していても遠方からスタジアムに通っている人、仕事の都合で平日観戦は難しいという人にとって、年間チケットの経済的なメリットは薄くなる。</p> <p>結果として年間チケットの購入意欲がなくなる。対策は考えているのか。</p>
●寒い中での試合数の増加	<p>みる</p>	<p>降雪時の試合観戦が安全に行えるよう、「スタジアム基準」に融雪・椅子暖房等の設備整備を義務項目として入れていただきたい。</p>
○その他		<p>スタジアムや全天候型練習場の確保等で自治体の協力は必須である。Jリーグとしては、関係自治体への協力要請をクラブに任せることなく、全国知事会を始め都道府県個々への説明と協力要請にリーグ自身が関与することを求める。</p>
	<p>する 観る 支える 交わる</p>	<p>説明会は限られた時間・人数の参加となっているので、他の意見・要望や追加の意見・要望があるものと思う。</p> <p>そうした意見・要望を速やかに取りまと</p>

		<p>め、公式 HP で回答してもらいたい。 レスポンスはスピード感をもって行って欲しい。</p>
--	--	---